長唄 木賊刈

始メ　一声　乞合　地打放地　高刻ヌク打掛

打出 甲三ツ地 打放 長地 結乙（新曲浦島通り）

（参考）打出 甲三ツ地 打放 結長地乞合 打放 結本上ゲ

〈面白や 梢はいずれ一ト葉散る
嵐や音を残すらん

スグハヲ　ツッチンツン　ハヲ
ツタ○　ツタ○×タ○×タ○　ハヲ
×タ○×タ○×タ○　イヤァ
△　○○　イヤァ
△

○○○○△
○タ○　タ△　ヤァ　ト、　扣

〈木賊刈る　園原山の木の間より　磨かれ出づる秋の月
〈露分け衣袖ぬれて男鹿鳴く野の行末と

〈それは信濃路我は又　老を養う楽しみに

〈心を磨く種にもと　いざや木賊を　刈らう　よ

ツテツテーン ストン、シャン、テントンツン、テントン、ツンテンツンツン、シャン
○ヤァ　ハ△　ヤ○　ハ●ハ○

ヨイ　ツツツン、、、、、（ヤ）　ヨイ
△タ○○△○×
○△タ○○○○○、　ハヲ
×△○×○○

〈今宵の月を

〈友として　〈昔話の
ヲシ 4 #ス○　ヲシ 6
ツタ○　ハヲ
タ△

〈ひとり笑み　扣　〈昔々爺と婆が

〈あったとさ　扣　〈爺は山へ柴刈りに
婆は川へ洗濯に　扣　〈互いに後を見送りて

〈山ァァァと　ツテツン、かわー　ツンテン、へー　ツンテンチンテンツン、テンツンテンツンテン、トン　ぞー
△　タタタ　△△△　○○○　△△△、
ツ　タ　○　ハヲ
タ△
※三絃入リノ時理論的ニアリ

〈出　で　ら　る　る
ツン、テン、チンチンチリチチテンツン、テントンツンテン
タ△ヤァト、扣　〈婆は尾上を見やりつつ　タ△ヤァ
〈北山風の激しくてさぞ　扣

〈寒かろういとしやと　我が身よりなほ
チンチンチンチンチンテンチン
△△　タタ　△△　○○
ス○ッタ○

〈打ちつ
×○○○　×○×○×○○×タ○　ハヲ
タ△
テテテン、、、、▲
△　○○○　○○○○
タ△

〈急ぎ行く（チン ハヲ）

（ヨイ）

（ヨイ）

（トチチン トン チャン）

〈おらが　元　気はな　若　い　者　にも（チトン、チリチトン、トテツン）

〈いっかな　め　っ　たに　負　け　ぬ　つ　づ　ら

〈折　な　る　えりくり　えんじょの　山　道　な　り　と

〈いっかな　め　っ　たに　負　け　ぬ　つ　づ　ら

〈折　な　る　えりくり　えんじょの　山　道　な　り　と

スグ（ツンツン、ツーン ツントン）

（チリチン）

（ハヲ（ハ））

（ヨイ）

〈足はしっかり　腰　を反らして　つえ

〈い　ら　ぬ　浮世がたり　と（ツン、シャン）

〈なり　に　け　り（トントンチンチン チリリンツンチンテン、ツン、ツン、チャン）

（チリカラ段切）